

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6 地域コミュニティの維持・再生

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 しまね暮らし推進課長 今岡 泰治 電話番号 0852-22-6179

事務事業の名称	中山間地域対策総合調整事業	
目的	(1) 対象	中山間地域住民
	(2) 意図	中山間地域対策関連事業の円滑な実施
事業概要	○中国5県相互の連携事業 中山間地域の課題に対し、広域的な連携を図るため中国地方知事会での共同事業を実施する ○全国中山間地域振興対策協議会費 中山間地域対策に関する情報収集等を図るため全国協議会に参加する	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	共同事業等検討会開催回数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		6.00	6.00	5.00	5.00	
式・定義	共同事業等検討会開催回数		実績値	9.00	5.00	5.00	6.00		回
			達成率		83.30	83.30	120.00		%
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	4,984	6,074
うち一般財源 (千円)	962	1,554

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○中国地方知事会中国地方中山間地域振興部会(事務局：島根県)において、中国地方5県が共同して中山間地域が抱える共通の課題について調査・研究を実施し、その成果を広く情報発信するとともに、各県の中山間施策に反映させている。
 ○平成24年度からは、集落単位での地域運営が困難になっている現状を踏まえ「地元の暮らしを支える複合的な事業連携・組織化の仕組みづくり」に関する研究事業を実施。
 ○各県の施策の参考とするため、人材や優良事例について情報を共有。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

○共同研究事業（H24～H26）
 テーマ：「地元の暮らしを支える複合的な事業連携・組織化の仕組みづくり」
 ・各県に設定したモデル地区において、複合的な事業連携・組織化の仕組みづくりの取組み
 ・複合化を検討、推進するため、「地元関係員」や「資金融助」の作成、関係事例の収集の取組み
 ○共同事業
 ・中国地方の地域づくり事例のデータベース更新
 ・現場で活動する大学生を対象とした学生フォーラムの開催

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

○中山間地域の抱える課題は中国5県の共通の課題であり、中山間地域では、人口減少、高齢化等により、集落単位での地域運営が困難となっており、既存の集落単位を超えた基礎的なコミュニティでの新たな地域運営の仕組み、組織づくりが急務。
 ○中山間地域研究センターは中山間地域振興部会における共同研究機関としての位置づけにあり、研究成果の地域への普及等中国各県にとってその役割は一層重要となっている。

②困っている状況が発生している「原因」

○中国地方の中山間地域では、都市部よりも人口減少、高齢化等が進み、地域の運営を維持していく担い手が不足している。
 ○従来の事業単位、組織単位では持続性、収益力、雇用力が低下しており、生活サービスの低下や就業機会が減少するなどの悪循環により地域の活力が低下し、生活環境や定住条件に大きな影響を与えている。

③原因を解消するための「課題」

○地域外からの移住による人材確保、所得源づくりが非常に重要
 ○公民館（旧小学校区）のエリアやこれより広いエリアにおいて、そこ住み続けられる地域の所得源の把握
 ○それに必要な地域運営体制、行政の支援体制、解消すべき規制や支援策等を抽出

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○中国5県共通の課題である中山間地域対策について、部会としての研究成果が各県の施策に繋がり、地域へ普及するよう、5県担当部局と中山間地域研究センターとが十分に意見交換等を行い、連携を密に図っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）